

# 新型コロナウイルス感染症に係る東京都危機管理対策会議

## 次 第

令和4年2月3日（木）15時00分から

都庁第一本庁舎 7階特別会議室（庁議室）

### 1 開会

### 2 オミクロン株による感染拡大に伴う今後の対応（案）

① オミクロン株の特性を踏まえた都の新たな指標

② オミクロン株の特性に応じた追加対策

### 3 知事発言

### 4 閉会

# オミクロン株による感染拡大に伴う今後の対応（案）

---

令和4年2月3日  
東京都危機管理対策会議

# オミクロン株の特性を踏まえた都の新たな指標

# オミクロン株の特性を踏まえた都の新たな指標

感染が収束傾向になく、（１）及び（２）を共に満たした場合、  
緊急事態宣言の要請を判断

## （１）医療提供体制の逼迫度合

①と②のいずれかを満たした場合に、参考指標も用いて判断

① オミクロン株の特性を踏まえた重症用病床使用率：30%～40%

② 酸素投与が必要な方の割合※：30%～40%

※入院患者に対する酸素投与が必要な方の割合

【参考指標】病床使用率、救命救急センターの全ての重症用病床使用率、救急医療の東京ルールの適用件数

## （２）社会経済活動への影響

③ 新規陽性者数(7日間平均)：2.4万人※となっていること

※欠勤者が都就業人口の約1割に達する恐れがある水準

# オミクロン株の特性を踏まえた医療逼迫度合の指標について①

① オミクロン株の特性を踏まえた新たな重症用病床使用率 **30~40%** (2/2時点:15.1%)

- ✓ **新型コロナウイルス自体の症状に関わらず、併存する疾患により重症化し、特定集中治療室等の重症用病床を使用している患者が多くいる実態を踏まえ、以下の指標とする**
- ✓ **専門家や医療現場からの意見を踏まえ、数値を設定**

肺炎症状による重症化

- **人工呼吸管理をしている患者**(これまでの都基準)
- **ECMOを使用している患者**(これまでの都基準)

- **ハイフローセラピーを行っている患者** **追加**

併存する疾患による重症化

- **上記の治療が必要になる可能性が高い患者等のうち、特定集中治療室(ICU)管理料または救命救急入院料を算定する病棟に入院している患者** **追加**

		特定集中治療室管理料を算定する病棟の入院患者	救命救急入院料を算定する病棟の入院患者	ハイケアユニット入院医療管理料を算定する病棟の入院患者 等	その他
重症患者	人工呼吸管理の患者	これまでの指標			
	ECMOを使用している患者				
重症患者に準ずる患者	ハイフローセラピーを行っている患者	オミクロン株の特性を踏まえた新たな指標			
	治療が間もなく必要になる可能性が高い、または治療から離脱後の不安定な状態				
治療を行う予定はないが生命危機にある状態等					

# オミクロン株の特性を踏まえた医療逼迫度合の指標について②

② 酸素投与が必要な方の割合 **30~40%** (2/2時点:8.0%)

- ✓ オミクロン株は罹患率が高く、感染急拡大により**酸素投与が必要な方が増加**
- ✓ 酸素投与が必要な方のうち、一定程度の重症患者が発生する可能性
- ✓ 昨夏の第5波において、病床逼迫の端緒となった7月の患者状況を基に数値を決定

▪ 入院患者のうち、**酸素投与が必要な方の割合**

## 《参考指標》

- ✓ **病床使用率：51.4%**(2/2時点、これまでの最大値71.2%)  
(新型コロナウイルス感染症患者のための病床全体の逼迫度を把握)
- ✓ **救命救急センターの全ての重症用病床使用率：72.1%**(2/2時点)  
(救急医療体制の逼迫度を把握)
- ✓ **東京ルールの適用件数：253.4件**(2/2時点、これまでの最大値259.0件)  
(救急医療体制の逼迫度を把握)

# オミクロン株の特性に応じた追加対策

## 「命を守る、暮らしを守る」

- ・ 医療提供体制・ワクチン接種等の対応
- ・ 高齢者の感染拡大への対応
- ・ 子どもの感染拡大への対応
- ・ 企業における取組

**医療提供体制・ワクチン接種等の対応**

# 医療提供体制の強化①

保健・医療提供体制		感染拡大緊急体制	
		病床確保レベル2	病床確保レベル3
医療機関	病床確保レベル3へ移行	確保病床 <b>6,919床</b> <small>※感染者の重症度、病床の使用状況、一般医療への影響等を考慮して順次実施</small> <b>軽症・中等症の患者の転院、軽症者の宿泊療養施設、自宅等への退院を促進</b>	
入院待機ST		<b>46床</b> (平成立石病院 20床、永生病院 16床、東京北医療センター 10床)	
酸素・医療ST【施設型】	オミクロン株新規陽性者数が概ね100人/日以上(7日間平均)又は増加比が概ね300%以上が2週間継続の場合	<b>600床</b> (旧赤羽中央総合病院 150床、築地デポ 191床、調布庁舎 84床、都民の城 140床、区主導型(練馬) 35床) <b>多機能化(自宅療養者の外来機能、病床ひっ迫時における入院待機機能を追加)</b>	
酸素・医療ST【病院型】		<b>120床</b> (荏原40床、豊島40床、多摩南部地域病院20床、多摩北部医療センター20床)	
感染拡大時療養施設	原則無症状の陽性者で、家庭内感染の可能性のある方等の入居施設(350床、2月上旬～ 650床、合計1,000床)		
宿泊療養施設	<b>約9,700室確保(2/3)、約11,000室確保(2月中旬)、居室確保に向けてさらに調整</b> <b>入所調整本部を強化(76→146名→さらに増員予定)、入所者に対する機能の強化</b>		
検査体制	行政検査: 1月以降約10万件/日、無料検査: 最大3万件/日(店舗拡大、期間延長、DXの推進) 集中的検査の対象拡大(保育士)、ベビーシッターを対象とした検査の実施、 <b>濃厚接触者等への検査体制の確保</b>		

# 医療提供体制の強化②

## 保健・医療提供体制

## 感染拡大緊急体制

### 病床確保レベル2

### 病床確保レベル3

#### 自宅療養体制

発熱相談センターの体制強化（100回線→150回線(1/20～)→200回線(2/1～) さらに増強調整中  
自宅療養者フォローアップセンターの体制強化（約600名体制に増員中）、自宅療養サポートセンター（うちさぼ東京）を開設  
入院調整本部の体制強化（軽症者の入院調整、保健所の支援機能強化、往診調整機能等）  
医療機関による陽性判明直後からの健康観察の促進（約1,600 医療機関が参画）  
往診体制の強化（都内全域オンライン診療、広域的に実施する医療機関(36医療機関)を指定、**高齢者施設等の往診体制を強化**）  
パルスオキシメーター20万台確保、さらに約10万台確保、配食サービスの充実（3万→5.7万→9.6万食/週）  
「自宅療養者向けハンドブック」を改訂、学生寮・部活動で集団感染を防ぐチェックリストの作成、**保育所等へ感染対策支援チームを派遣**

#### 保健所体制

業務の重点化移行、都職員の派遣（約100名規模）、見える化やチャットホット、ウェアラブル端末による健康観察を先行実施  
保健所を通さず宿泊療養を希望する患者が直接申し込む体制を強化、広報展開

#### ワクチン等

医療従事者及び高齢者施設入所者・従事者(R3.12～追加接種(3回目接種)開始)  
一般高齢者(R4.1～追加接種開始)、警察・消防関係者(1/19～実施)、**高齢者施設等従事者(2/3～実施)**、全体を前倒し、**高齢者施設の接種を強力に推進、保育士・ハビーターへの接種を推進**、中和抗体薬の投与を推進

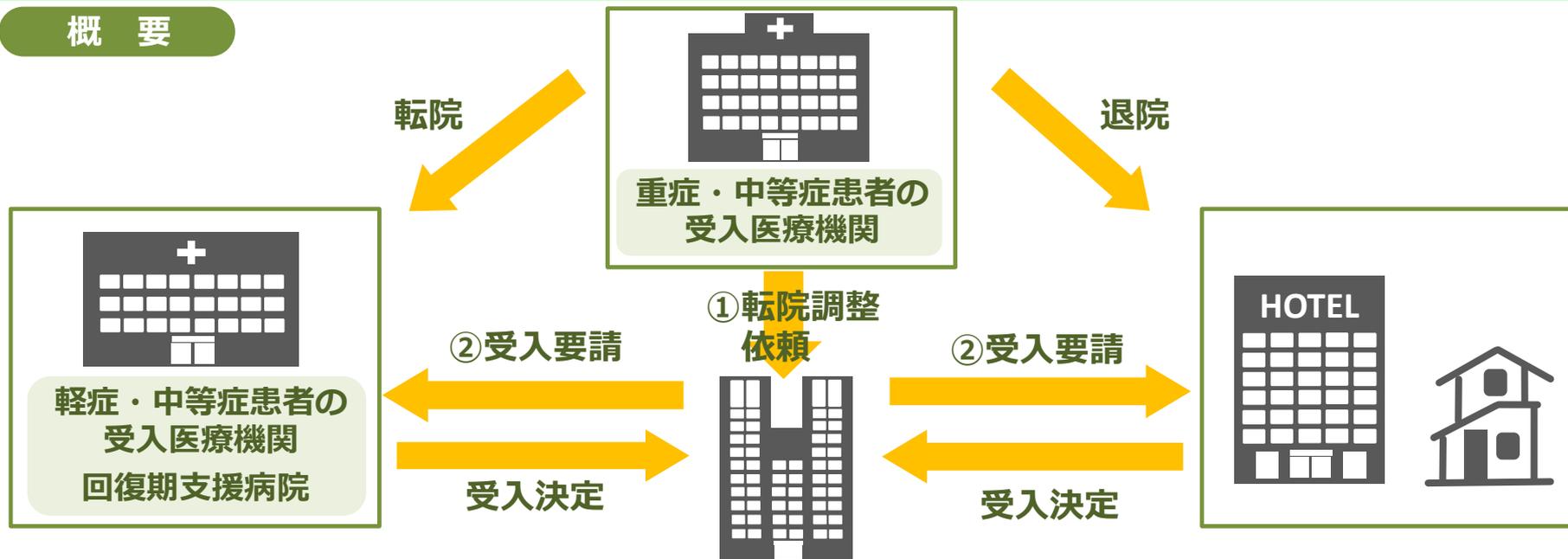
#### 経口薬

経口薬の提供体制の確立（登録済み医療機関 約2,800件、発注済み薬局 約1,700件）、**治験への協力**

# 転退院支援の促進について

- ✓ 症状が改善した患者を**軽症・中等症**の患者を受け入れる医療機関への**転院**や**宿泊療養施設**等への退院を促進し、**効率的に病床を活用**

## 概要



# 濃厚接触者等への検査体制の確保

- ✓ 受診希望者の急増時や検査キット不足時でも、**濃厚接触者等の検査機会を確保**
- ✓ **無症状の濃厚接触者等が自宅で検査を受けられるよう、検査キットを配布**

## 検査体制

対象者	検査方法
有症状者	▪ 診療・検査医療機関（約2,100か所、診療及び検査を実施）を受診
無症状の濃厚接触者等	▪ <b>都が配布する検査キットにより、自宅で検査を実施</b> →陽性の場合、 <b>診療・検査医療機関</b> （約900か所、診療のみ実施）の <b>受診やオンライン診療の活用</b>

※その他の診療・検査医療機関（約1,000か所）に対しても**都HPでの公表を更に呼びかけ**

## 検査キットの配布方法

- ✓ 都が協力を得られた**医療機関等を通して、無症状の濃厚接触者等へ配布**
- ✓ **検査キットの配布申込を行った都内在住の無症状の濃厚接触者等に対し宅配**

# 都・大規模接種会場における追加接種の実施

## 開設予定会場 概要

区分	三楽病院	乃木坂（wework乃木坂）
設置場所	千代田区	港区
ワクチン	武田/モデルナ社製	
接種時期	2月8日（火）～	2月11日（金）～
最大接種規模	800人/日程度	1,200人/日程度
開設時間	火・水 14:30～19:30 金 17:00～19:30	12:00～20:00
接種対象	教育・福祉関係者（高齢者等施設を含む）・医業類似 行為従事者・消防団・生活関連業・エッセンシャルワーカーを対象	

# 都大規模接種会場の設置状況・接種対象者

	会場	最大 接種規模	開設 (予定)日	使用 ワクチン	12月	1月	2月	3月	4月
1	都庁北展望室 (運営中)	1,000	12/19 ~	ファイザー 3/1~モデルナ		医療従事者・救急隊員等		エッセンシャルワーカー	
2	多摩センター (運営中)	750	12/20 ~	ファイザー 3/1~モデルナ		医療従事者・救急隊員等		エッセンシャルワーカー	
3	行幸地下 (運営中)	3,000	1/19 ~	モデルナ			警察・消防	エッセンシャルワーカー	
4	都庁南展望室 (運営中)	1,250	1/26 ~	モデルナ			警察・消防	エッセンシャルワーカー	
5	立川南 (運営中)	1,500	2/1 2/3	モデルナ		警察・消防 高齢者施設等従事者		エッセンシャルワーカー	
6	三楽病院(今回設置)	800	2/8	モデルナ				エッセンシャルワーカー	
7	乃木坂(wework乃木坂) (今回設置)	1,200	2/11	モデルナ				エッセンシャルワーカー	
8	東京商工会議所 (区部)	500	2/28	モデルナ				都内中小企業従業員等	
9	商工会連合会 (多摩地域)	500	2/28	モデルナ				都内中小企業従業員等	

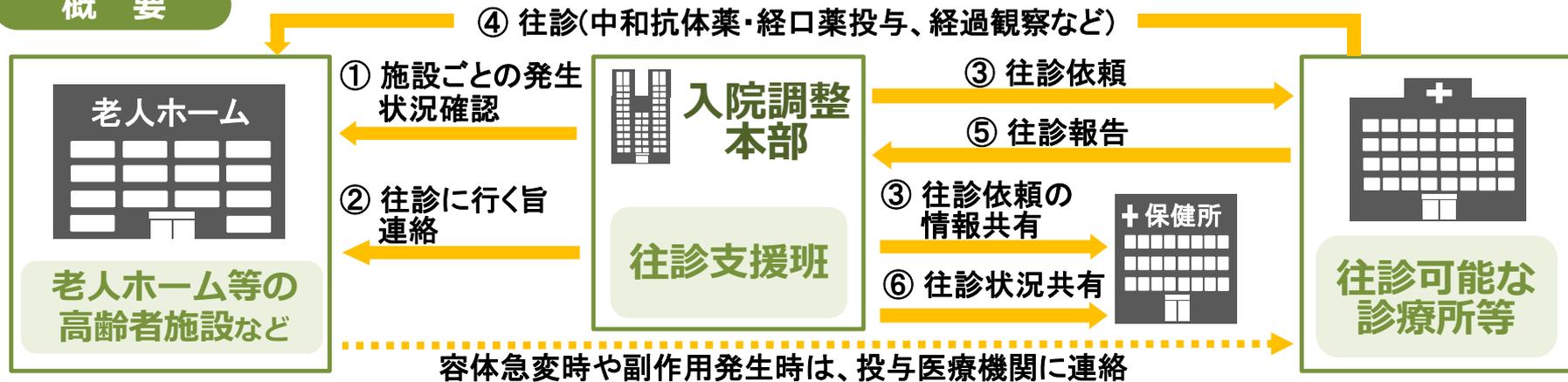
⇒ 今後も大規模接種会場の設置をさらに進めていく

# 高齢者の感染拡大への対応

# 高齢者施設への対策の強化①（往診体制の強化）

- ✓ 複数の陽性者が発生している高齢者施設などに対する**往診体制を強化**
- ✓ 入居者を**施設内で往診治療**し、重症化リスクの高い患者の**発生を抑制**

## 概要

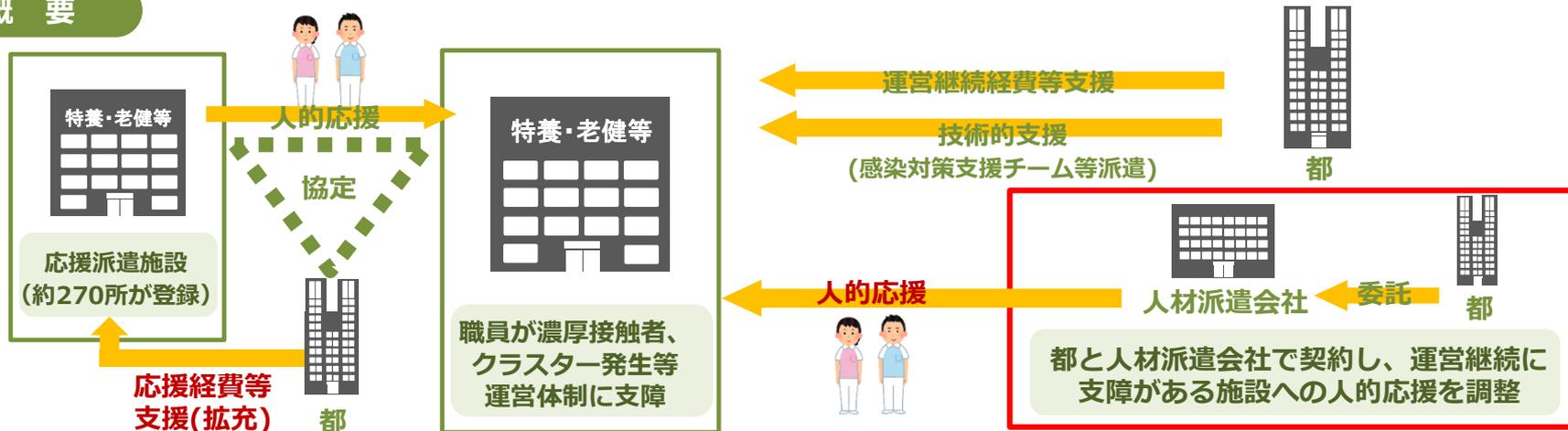


- ✓ **高齢者施設におけるワクチン接種を強力に推進**
- ✓ **集中的検査の実施**

# 高齢者施設への対策の強化②（職員の応援体制の強化）

- ✓ 感染拡大に伴い施設の運営継続が難しい高齢者施設等への応援体制を強化
- ✓ 既存の仕組みの充実に加え、新たな取組での人的な支援について検討

## 概要



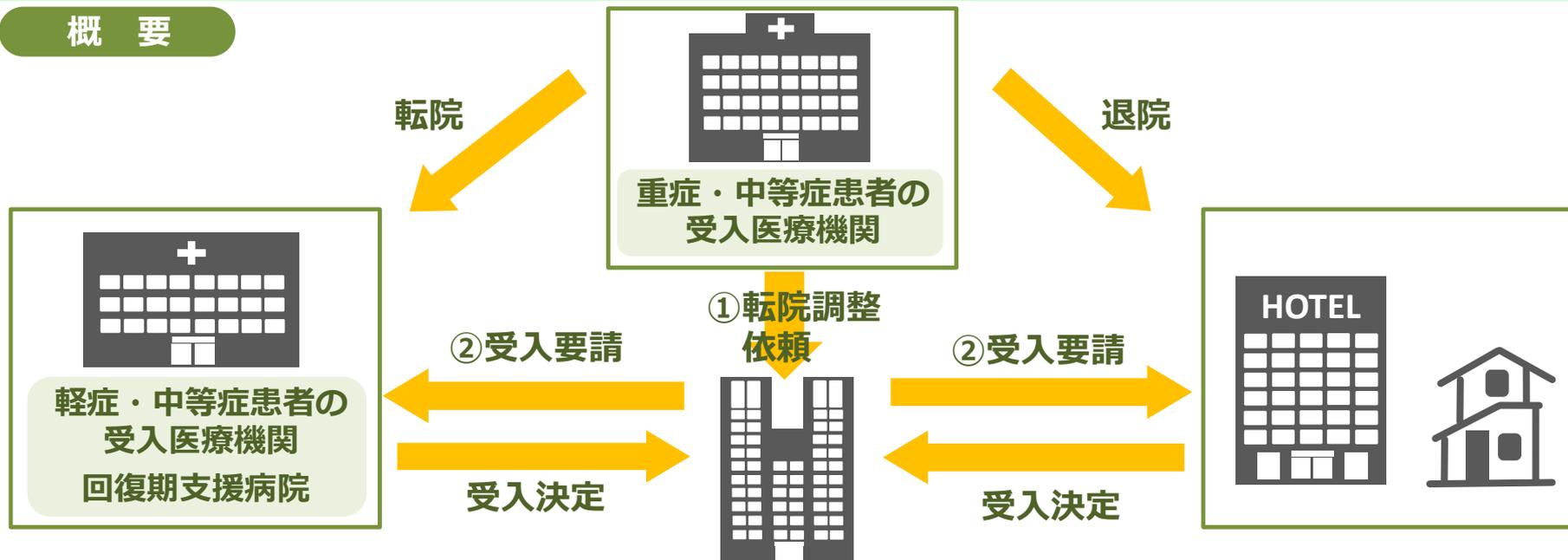
- 職員不足により施設運営の継続に支障が生じる施設への人的応援体制を強化
- 既存の仕組みがより活用されるよう応援派遣を行う施設への支援拡充を検討
- 応援調整の手順は、法人内⇒区市町村内⇒都全域を基本としつつ、より早期の人的応援が可能となるよう、都と人材派遣会社の契約に基づく新たな応援体制を構築

# 転退院支援の促進について

再掲

- ✓ 症状が改善した患者を**軽症・中等症**の患者を受け入れる医療機関への**転院**や**宿泊療養施設**等への退院を促進し、**効率的に病床を活用**

## 概要



# 高齢者を感染から守るためのホテル利用の取組

○ 高齢者の家庭での感染を防ぐためホテル等での滞在を後押し

## 対 象

都内で同居家族がいる65歳以上の高齢者（その介助者も含む）

## 要 件

連続して6日間都内ホテル等に滞在  
陰性であることの誓約書、宿泊先での検温が必要  
食事や日用品の買い物以外の外出は基本的に控える

## サポートの内容

1泊につき、5,000円（定額）を助成

# 子どもの感染拡大への対応

# 学校の対応

学校は、感染拡大状況下においても、感染防止と学びの両立を図り、家庭の事情にも配慮し、**原則運営を継続**

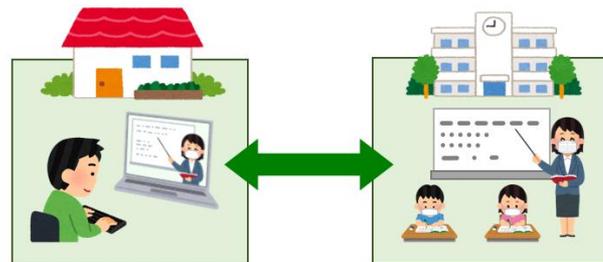
## 学校運営継続のための取組

- ✓ 分散登校とオンラインを組み合わせた**ハイブリッド授業**を来週から開始
- ✓ **BCP**を活用した**学校運営の継続**
- ✓ 人的支援の強化（ICT支援員等）

## 感染拡大防止の取組

- ✓ 教職員に対する**定期的な抗原検査**の実施
- ✓ **3回目ワクチン接種**の推進
- ✓ 家庭における**感染症対策**の徹底

### \*ハイブリッド授業の例



- 1クラスを2グループに分ける。
- 午前・午後で学校と自宅を入れ替える。

	午前・1～3校時	昼食	午後・4～6校時
グループ①	3時間授業 <学校>	給食 <学校>	オンライン学習 <自宅>
グループ②	オンライン学習 <自宅>	給食 <学校>	3時間授業 <学校>

# 保育所等における新型コロナウイルス対策について

- ✓ 保育所等は、感染拡大状況下においても、社会機能の維持のために事業の継続が求められる事業者であることから、感染予防に最大限配慮しつつ、**原則開所**

## 基本的な感染症対策の徹底

- ✓ 保育施設における**感染症対策リーフレットをオミクロン株に対応できるように改訂**

## 保育サービス提供体制の確保

- ✓ 都の大規模接種会場にて、**保育所等職員に3回目ワクチン接種の実施** <R4.2~>
- ✓ クラスタが発生した保育所等に**感染対策支援チームが助言等** <R4.2~>
- ✓ **代替職員の確保や補助的人材の配置を支援** <通年>

## 検査体制の強化

- ✓ **保育施設の職員やベビーシッターに対し、集中的検査を実施** <R4.2~>
- ✓ 児童等の感染判明に備え、区市町村及び認可外保育施設を対象にPCR検査キットや抗原検査キットを配布・活用 <R3.8~>

## 休園時の利用者支援

- ✓ 保育所や学童クラブ等が臨時休園等した際に、**ベビーシッターを派遣**

# 企業における取組

# 企業等の皆様へ

## ○ B C Pを再点検して事業継続の準備を

- ✓ B C P策定の相談・アドバイスや優良事例を紹介
- ✓ スーパーやコンビニの働き手の確保に係るサポートを開始

## ○ テレワークの取組の一層の強化を

- ✓ ホテルに宿泊してテレワークできるサポートを開始  
⇒ 宿泊予約受付中

**広報・情報発信**

# 広報・情報発信

## コロナの取組のまとめサイトでの発信 (2/3～)

### 掲載内容

#### ● 命を守る

医療機関の病床等確保  
検査キットの直接配送  
宿泊療養施設の確保  
自宅療養中の方への支援  
高齢者のホテル等での滞在支援  
高齢者施設への往診体制強化

ワクチンの3回目接種  
新たな療養施設を設置  
宿泊療養申込窓口  
自宅療養ハンドブック、10の約束  
高齢者施設への人材派遣



#### ● 暮らしを守る

学校運営の継続  
代替要員の確保をサポート  
BCPの策定サポート

学校の感染対策強化  
保育施設の対策強化  
宿泊型テレワークの支援

## まとめサイトの情報をさらに展開

- 都庁ポータルサイトからの誘導
- SNSにおける発信
  - ↳ Twitter・LINEほか
- WEB広告における発信
- デジタルサイネージにおける発信
- 各種メールマガジン等で配信  
など

# 国への要望

# 国への要望

- 1 検査キット・ワクチン・経口薬・中和抗体薬（4点セット）の早期確保、確実な供給等
- 2 感染者の療養解除期間の短縮等
- 3 転院の促進
- 4 緊急事態宣言等の取扱いに係る方針の明確化